

6月12日、堀兼小学校区「ほりっこ」では、昔あそびをテーマにペーゴマ、けん玉、お手玉などをみんなで楽しみました



あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮ったものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

●土曜日の午前中が楽しみ！

地域子ども教室が始まりました
市では文部科学省の「子どもの居場所づくり新プラン・地域子ども教室推進事業」を受託し、堀兼小学校区と入間川小学校区をモデルに「地域子ども教室」をスタートしました。この事業では、地域住民や保護者をはじめとする各種団体・個人が連携しながら、持てる教育力を結集し、地域全体で狭山市の宝である子ども達を育て、見守る体制を作っていきます。

トピックス TOPICS

6月26日、入間川小学校区の「川小あそびひろばわくわく」では、「休日学校探検スタンプラリー&カヌー体験」をテーマに、昔遊びやフラフープなどを体験するスタンプラリー、入間川でのカヌー体験が行われ、大盛況でした



●帰ったら、大好きなカレーライスを作ってね！

6月19日(土) 第三児童館「じゃがいも掘りに行こう」が智光山公園近くの畑で行われました。参加した45名の親子は、泥だらけになりながら、大きなじゃがいもを手にし、土の暖かさと大地の恵みを感じていました。



●いざというときに備えて

6月12日(土) 狭山市消防本部で乳幼児情報センターの講座「パパ・ママのための赤ちゃん救急法」が行われました。当日は、5か月から2歳3か月までの子どもを持つ両親8組が参加し、人形をわが子に見立て、心臓マッサージや人工呼吸などを覚えました。参加者はみな、万が一に備えて真剣なまなざしで指導を受けていました。



●国際交流の輪が広がりました！



6月20日(日) 新狭山の中原公園で、「第12回あじさい祭り並びに第15回国際交流の集い」が開催され、約5,300人が訪れました。当日は、梅雨の中休みの青空が広がり、国際交流協会による歌と踊りや幼稚園児の遊戯など各種アトラクションが行われ、たくさんの拍手や声援が飛び交いました。

公園の周りでは見ごろを迎えたあじさいが美しく咲き誇り、あじさい祭りの名にふさわしく会場を色どり、また、国際色豊かな催しとなりました。

探してみよう 自然の山 109



ショウリョウバッタ (バッタ科)

草原にすむバッタで、体は細長く頭部は三角形に突き出し、まえばねの先がとがっています。雌は体長

8cm、雄は約4cmになり、飛ぶときに前羽と後ろ羽を打ち合わせてキチキチという音を出すことからキチキチバッタともいわれています。

堀兼中学校



●地域で生きる子ども達を育てる「体験学習会」

総合的な学習の時間で毎年9月、地域の方が講師になって、豆腐やパン作り、華道、お雛子など30以上の体験学習を行っています。生徒たちは、普段の学校生活では学ぶことのできない講座にチャレンジし、午後に発表会を行います。今年はどんな講座で学ぼうかと、今からみんな楽しみにしています。

●10年以上続く幼稚園児との交流「保育実習」

年に2回、2年生の家庭科で、近接する堀兼幼稚園へ訪問し、園児と砂遊びやボール遊びなどで一緒に過ごします。毎年楽しく交流し、仲良くなった園児たちが体育祭の応援に訪れ会場を盛り上げてくれます。



●すべての人権が尊重される 社会意識の高揚をめざして！

人権セミナーは、6月4日からさまざまなテーマで全7回行われ、7月15日にも開催されます



6月18日(金)富士見集会所で「親と子のかかわり」をテーマに人権セミナーの講演がありました。62名の参加者は、さまざまな体験事例をまじえた講師の話に熱心に耳を傾けていました。

●弓道教室で礼節^{れいせつ}を学びました！



水富公民館の弓道場で初心者弓道教室(5月8日～6月26日)が開かれました。弓道は礼節を重んじる武道で、初めて弓を握った参加者は、回を重ねるごとに上達し、基本動作を繰り返しながら、心地よい緊張感の中での的に狙いをつけていました。



種類：2千600株が植えられています
2千500m²の花菖蒲園には約150

●色とりどりの花が皆さんを迎えました

智光山公園の花菖蒲が6月13日(日)にピークを迎えました。昨年は春先の冷害に見舞われ、株の生育状況が悪く花の数も少なめでしたが、今年は丹精込めた手入れが実を結び、紫・藍色・ピンク・白と艶やかに咲きました。早朝からカメラを持った人や、散歩がてらに花を見に来た方など大勢の方が訪れ、思い思いに咲き誇った花を楽しんでいました。